



■北陸自動車道 親不知海岸高架橋

親不知海岸高架橋は、親不知ICを含む、総延長3.4kmの高架橋で、昭和63年7月20日に開通し25年を経過しています。完成当初は、橋脚を保護するための緩傾斜護岸を形成していましたが、日本海の荒波により年々汀線が後退していき、平成14年（供用後15年経過）には、ほぼ消失してしまいました。その後、擁壁護岸と合わせて25t消波ブロックを設置しましたが、安定した護岸には至らなかったため、平成22年度から補修と合わせて40t消波ブロックでの被覆を行い、平成27年12月に全ての工事を完了しました。

(写真提供：東日本高速道路株 新潟支社 信越工事事務所)

視点

- 1 道の駅を巡って得たもの
■石川県 参事（プロジェクト担当） 盛谷 明弘



大手橋から長岡駅方面を望む
▶P.3

地域の動き

- 3 魅力と活力ある新市街地「長岡駅東地区」の発展を目指して
長岡都市計画道路事業 台町川崎線
■長岡市土木部道路建設課



ICT建機（バックホウ）を
採用した施工▶P.5

技術レポート

- 5 建設業が抱える「諸課題」の解決に向けた取組み
最先端の建設ICT技術を活用したモデル工事事例
■(株)廣瀬



従来施工 ICT施工
ICT建機による施工 盛土工の作業状況▶P.9

- 9 建設事業の生産性向上に向けて
公共工事へのICT施工技術の導入
■石川県土木部監理課技術管理室



亀田清掃センター
蒸気タービン▶P.11

- 11 施設延命化及び二酸化炭素排出量削減を図る
亀田清掃センター基幹改良工事
■新潟市 環境部 廃棄物施設課 亀田清掃センター

- 13 供用中トンネルへの監視員通路の設置
東海北陸自動車道 監視員通路設置工事の報告
■中日本高速道路(株) 金沢支社 富山保全・サービスセンター



プレキャストL型擁壁設置工法
▶P.13

- 15 ICTを活用する
舗装工事における3Dモデルの適用事例
■北川ヒューテック(株)



3Dモデル
作業スペースと危険箇所▶P.15

シリーズ 現場技術者の「知得」

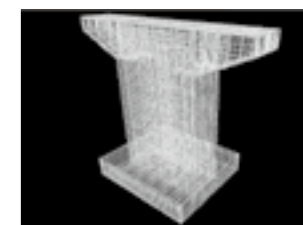
- 19 NEXCO中日本金沢支社 若手技術者の育成
■中日本高速道路(株) 金沢支社 環境・技術管理部



アスファルト舗装講習
(舗設体験)▶P.19

職場紹介

- 21 地球にやさしく、人にやさしく
次世代の架け橋へ
■開発技建(株)



橋脚の3D配筋モデル
▶P.21

先輩なう！

- 24 過去から現在、そして未来へ繋げる仕事
■(株)植木組 舗道部 品田 博貴さん



国道17号六日町バイパス
(南魚沼市小栗山地区)▶P.24

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp